

平成 27 年度・第 49 回関口杯支部対抗柔道大会要項

主 宰 群馬県柔道連盟

後 援 公益社団法人 群馬県接骨師会

日 時 平成 27 年 4 月 12 日（日） 開会式 10 時

会 場 ぐんま武道館 第一道場（前橋市関根町 800）
TEL 027-234-5555

試合方法 (1)県内 13 支部のうち、参加チームを A・B・C の 3 ブロックに分け、各ブロック毎にリーグ戦を行い、勝率高点法により各ブロック毎に順位決定する。
(一本勝ち=10 点、技有り勝ち=8 点、有効勝ち=6 点)
(2)同率・同点の場合は得点内容を検討し、なお同等の場合は代表戦を 1 回行い決定する。

ブロック

編 成 A ブロック：①前橋 ②高崎 ③邑楽・館林 ④利根・沼田 ⑤北群馬・渋川
B ブロック：①桐生 ②佐波・伊勢崎 ③太田 ④吾妻
C ブロック：①甘楽・富岡 ②多野・藤岡 ③安中 ④みどり

チーム

編 成 ・監督 1 名、選手 8 名。 先鋒小学生 次鋒中学生 中堅、副将、大将高校生以上
・但し選手に変更がある場合、監督は監督会議前に変更用紙に必要事項を記入し、受付係に提出する。

選手編成 (1)県内在住（現に居住している事）の支部会員で全柔連登録済みであること。
(2)警察官及び大学生はそれぞれ 2 名以内とする。
(3)在住する支部から出場する。但し在住支部の支部長の許可が得られれば勤務地、大学、高校、中学、道場、スポ少が所在する支部から出場できる。

申し込み 申込先：〒370-3525 高崎市三ツ寺町 1207-5
群馬県柔道連盟普及部事務局 「藤川 進」宛て
TEL(FAX) 027-372-1165
メール mini-macho@nifty.com
〆切り：平成 27 年 3 月 8 日（日）必着のこと（メールでの申込が望ましい）

表 彰 (1)各ブロック優勝・準優勝・3 位のチームに賞状を授与する。
(2)各ブロック優勝チームの成績を検討して、最優秀チーム並びに 2 位のチームを表彰する。
同成績の時は上位のブロックチームを上とする。
但し、ブロック内チーム数の異なる場合は、その他の事項の (3) による。
(3)全勝者には全勝賞を授与する。

審判員 6段以上の公認審判員とする。

判定基準 国際柔道連盟審判規定による。

優勢勝ちの判定基準は、「有効」又は「指導差2」以上とする。

但し、代表戦についてはゴールデンスコア方式で行います。

*先鋒、次鋒については国際柔道連盟審判規定及び少年申し合わせ事項による。

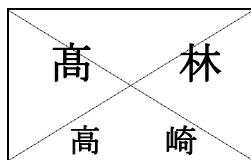
試合時間 先鋒2分、次鋒3分、中堅・副将・大将4分

組み合わせ 平成27年2月22日（群柔連定例会）に、午前10時から第4会議室において事務局・支部長の立会のもと普及部が行う。

その他 (1) 審判、監督会議 午前9時30分（第4会議室）

(2) 選手は縦25cm、横30cmのゼッケンをしっかりと縫付けること。

但し小、中学生は所属先でもOKです。



(3) 総合順位決定方法

5チームと4チームのブロックがあり、異なるブロックの順位決定方法は下記による。

① 4勝と3勝のチームでは4勝のチームの勝ちとする。

② ①でない場合は次の方法により順位を決定する。

但し、勝率の考え方を以下のように定める

ア ブロック内のチーム対チームの勝敗について

- ・勝ちチームに1点を与える
- ・引き分けチームに0.5点を与える

イ ブロック内の勝率計算について

- ・5ブロックチームについては、総獲得点/4 これを勝率とする
- ・4ブロックチームについては、総獲得点/3 これを勝率とする

(4) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

ア 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

イ 大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とするなお、至急脳神経外科の専門医の精査を受けること。

ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること

エ 当該選手の指導者は大会事務局および書面により事故報告書を提出すること。